

新潟駅周辺整備について

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



2019.7.18
新潟市 新潟駅周辺整備事務所

新潟市の概況

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



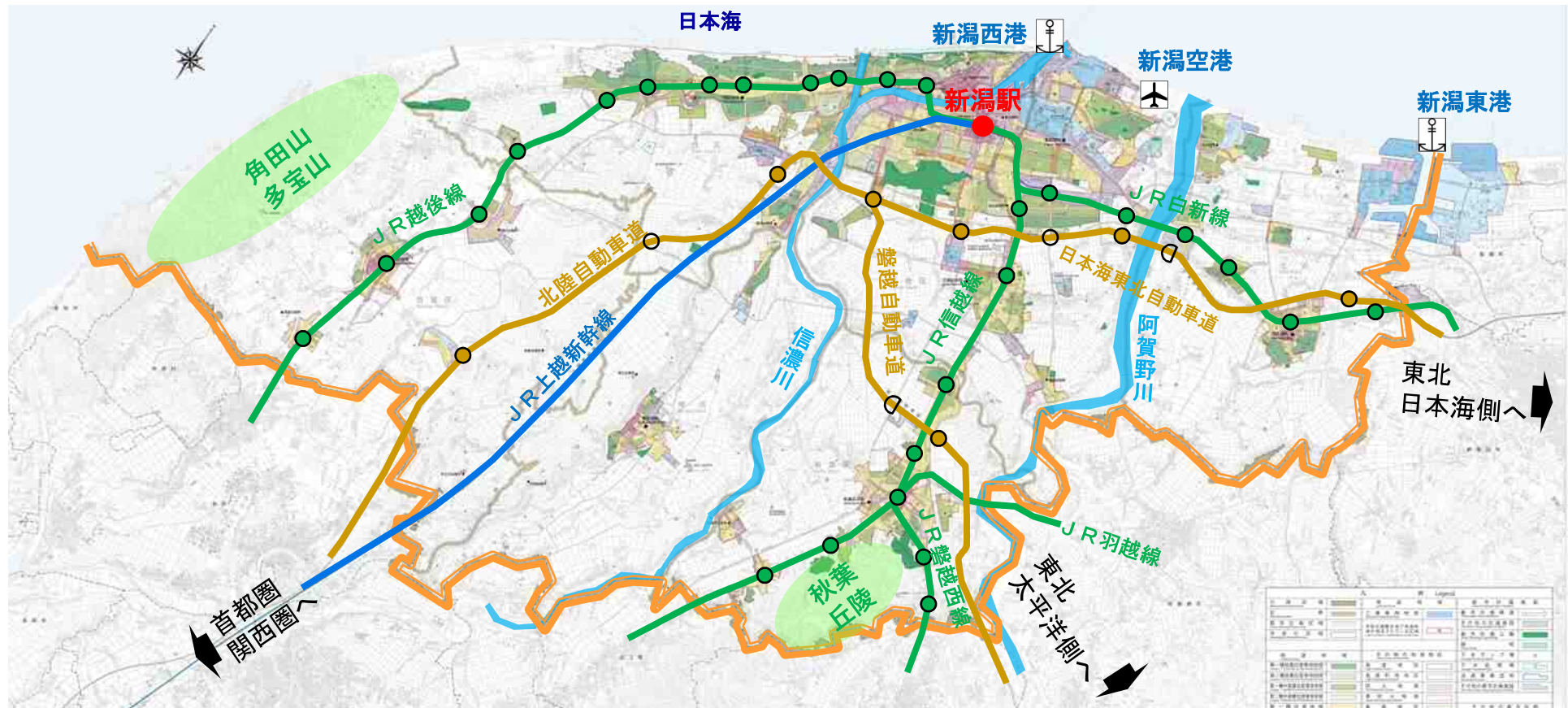
信濃川河口からの航空写真



- 人口：約80万人 面積：約730km² 本州日本海側唯一の政令市
- 日本海、信濃川・阿賀野川の両大河、ラムサール条約登録湿地「佐潟」など、多くの水辺空間と自然
- 国内最大の水田面積を持つ大農業都市

新潟市の交通

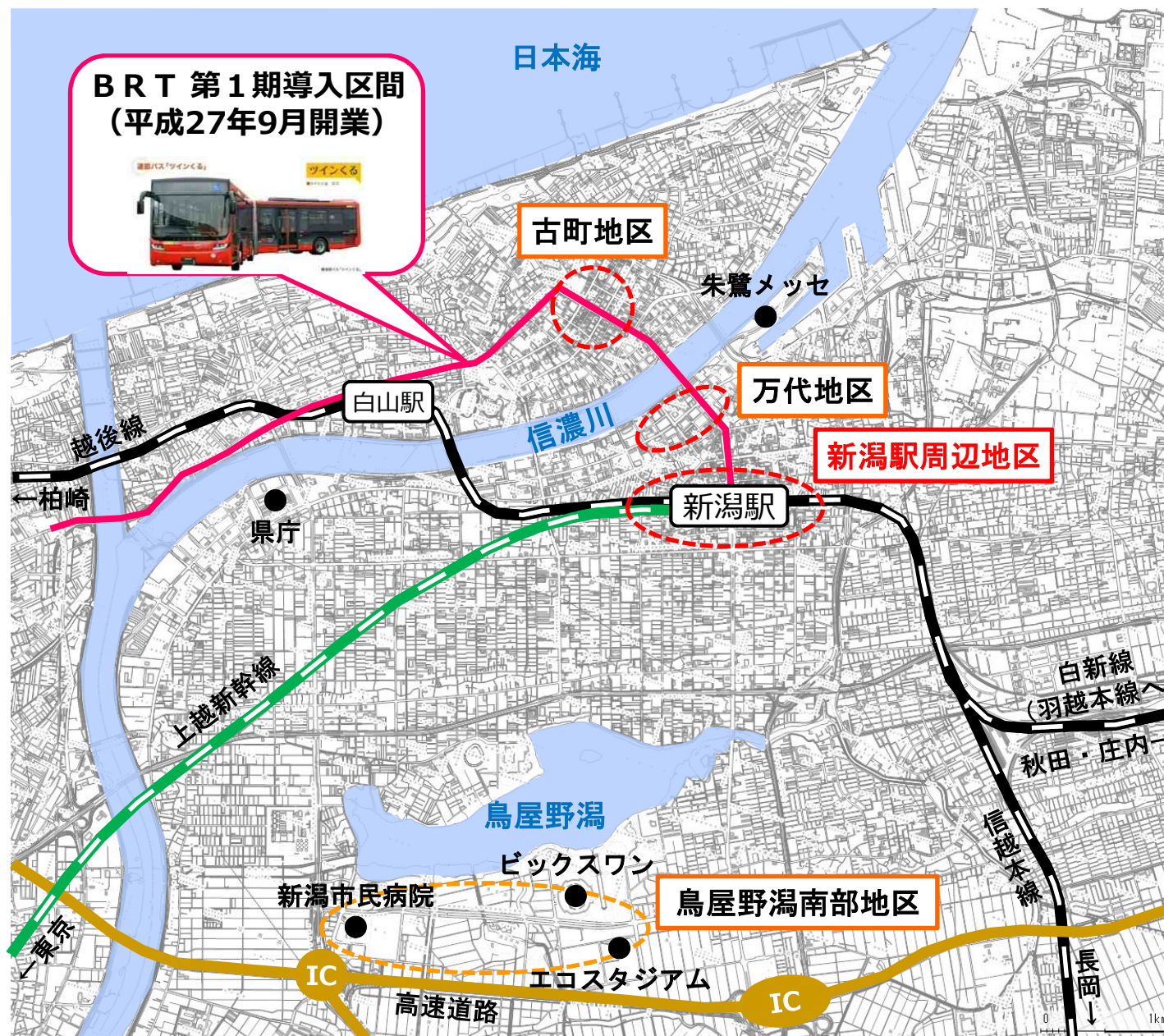
花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 国際空港「新潟空港」と国際拠点港湾「新潟港」
- 上越新幹線
- 高速道路「北陸自動車道」「磐越自動車道」「日本海東北自動車道」
- JR在来線 5路線・27駅

新潟市の都心(中心部)

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



BRT 第1期導入区間
(平成27年9月開業)



都心と都心軸

古町地区

古くからの繁華街

万代地区

バスセンターを中心に
商業施設が発展

新潟駅周辺地区

新潟の陸の玄関口
交通結節点

新潟駅の概況

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



新潟駅（万代広場側）

新潟駅（南口広場側）



新潟駅

- 1日列車発着本数
上越新幹線 55本
在来線3線 346本
- 1日乗降客数
約7万5千人



駅前広場

- 1日バス発着本数
約3,600本
- 1日利用者数
約3万人
※バス・タクシー・自家用車

- 新潟市内・周辺市町を含めた圏域・日本海側の中心駅
- 1日 約10万人が利用する交通結節点

事業に至る経緯

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- ・昭和62年度（1987）国鉄の分割民営化により，現在の南口広場にあった新潟車両基地の移転が決定し，新潟駅周辺整備実現の可能性が浮上。これにより新潟市による連続立体交差化を含めた調査開始（S62～H1）
- ・平成4年度（1992）新潟県・新潟市が共同で調査開始



これまでの歩み

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



1992年度 新潟県・新潟市共同調査開始

1998年度 「新潟駅周辺整備基本構想」公表

1998～2000年度 新潟駅周辺まちづくり懇談会、説明会、シンポジウムなど実施

2001～2002年度 「新潟駅駅舎・駅前広場計画提案競技」最優秀賞決定（堀越グループ）

2001～2004年度 「新潟駅周辺整備計画素案」の公表、説明会、市民ワークショップなど実施

2005年度 「新潟駅周辺整備計画」都市計画決定

事業スタート

2006年度 「新潟駅付近連続立体交差事業」「都市計画道路（3路線）」都市計画事業認可

2007年度 政令市移行に伴い連続立体交差事業の事業主体が県から新潟市へ移管

2009年度 新潟駅南口広場第一期工事完了

2009年度 新潟駅南口第二地区再開発事業完了

2011年度 連続立体交差事業及び関連道路事業計画の見直し※

2018年度 新潟駅高架駅第一期開業及び新幹線と在来線の同一乗り換えホーム完成

※2011年度、事業着手から概ね5年が経過したことから、現状や社会経済状況の変化を踏まえ、新たな整備目標を定めました。

新潟駅周辺整備事業の概要

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



駅前広場整備

- ・踏切除却による
安全性や利便性の確保
- ・鉄道両側のまちの一体化
- ・同一ホーム乗り換えによる
国土軸の強化

- ・自動車の安全かつ円滑な
交通の確保
- ・自転車や歩行者の
安全や利便性の確保
- ・まちの景観や都市防災の向上

- ・広場内の交通機能強化
- ・新潟の顔としての空間整備
- ・駅の両側を結ぶ
公共交通軸の形成



新潟駅周辺整備の目的・将来像

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



事業目的

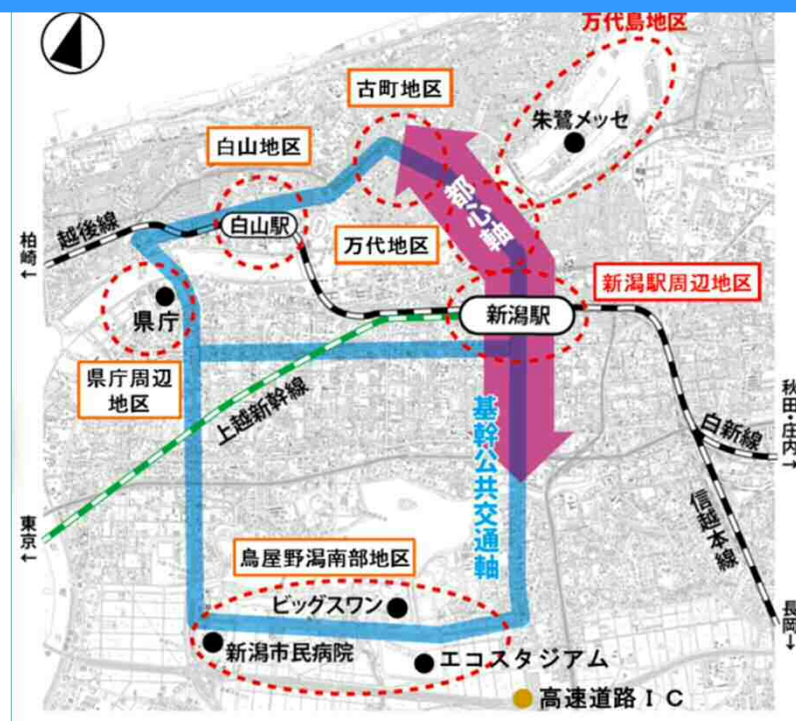
- 「新潟」の拠点性の向上
- 日本海側の国土軸の強化

- 新潟駅を挟んだ都心軸の形成
- 鉄道と基幹公共交通軸の結節機能強化



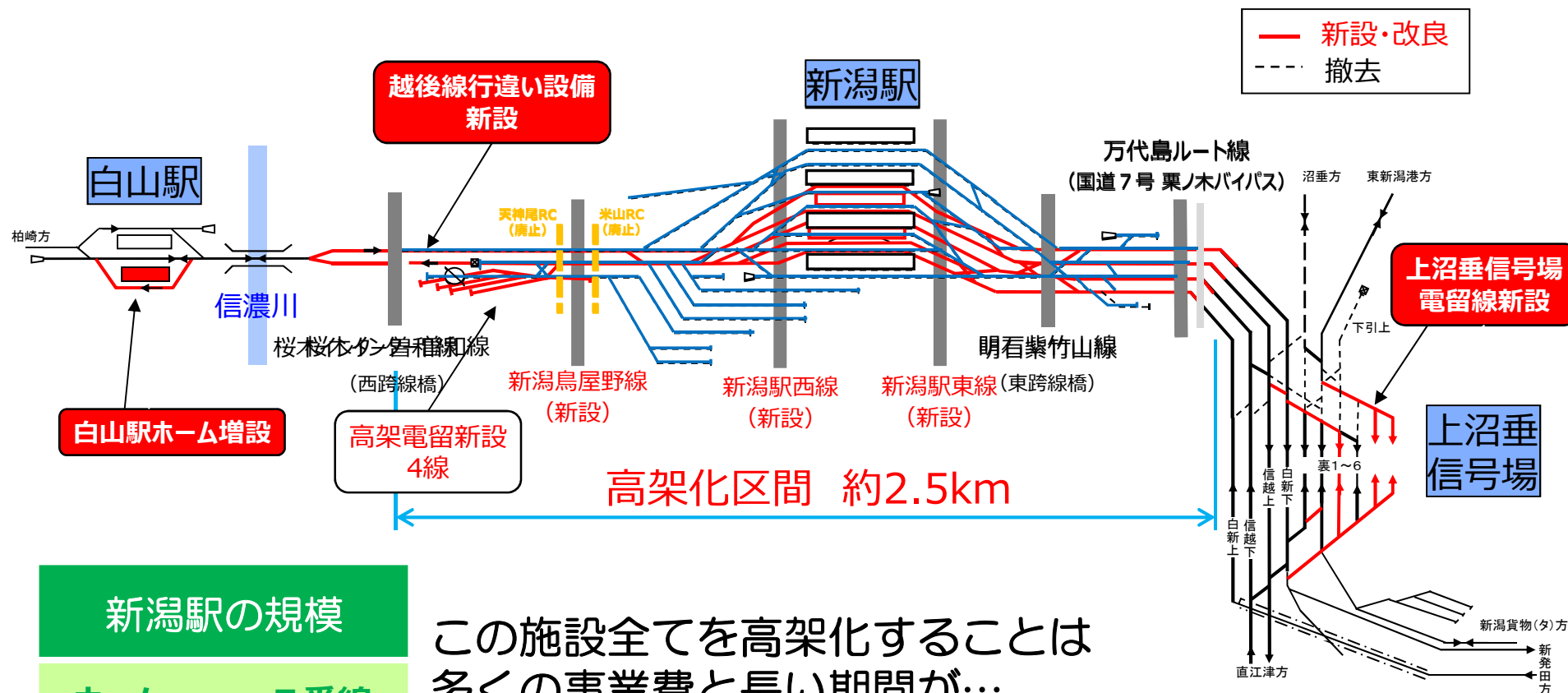
将来像

- 北東アジア交流の陸の玄関口
- 水の都にいがたの都心軸の“要”
- 人と環境に優しい都市交通体系の主要ターミナル



連続立体交差事業の平面計画

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



新潟駅の規模

- ホーム 7 番線
- 電車留置線 8 本

この施設全てを高架化することは
多くの事業費と長い期間が…



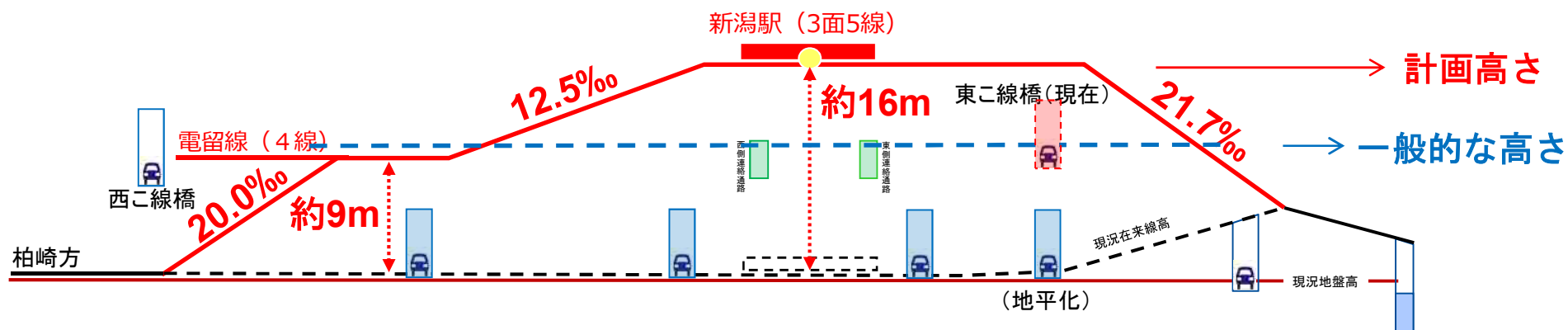
新潟駅の役割の一部を他の施設へ分担（駅のスリム化）

- ホーム 5 番線
- 電車留置線 4 本

- ホーム使用時間 → 行違い設備と隣接駅ホーム増設
- 電車の留置 → 隣接信号場へ一部移転

連続立体交差事業の高さ計画

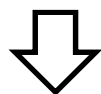
花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



一般的な高さ

鉄道高架橋を交差する
平面道路の通行を確保

跨線橋や駅を横断する
通路が長期間通行止め
に…



新幹線とほぼ同じ高さ

工事期間中でも
跨線橋や駅を横断する
通路が通れるように



東跨線橋の状況

新幹線・在来線同一ホーム乗り換え

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



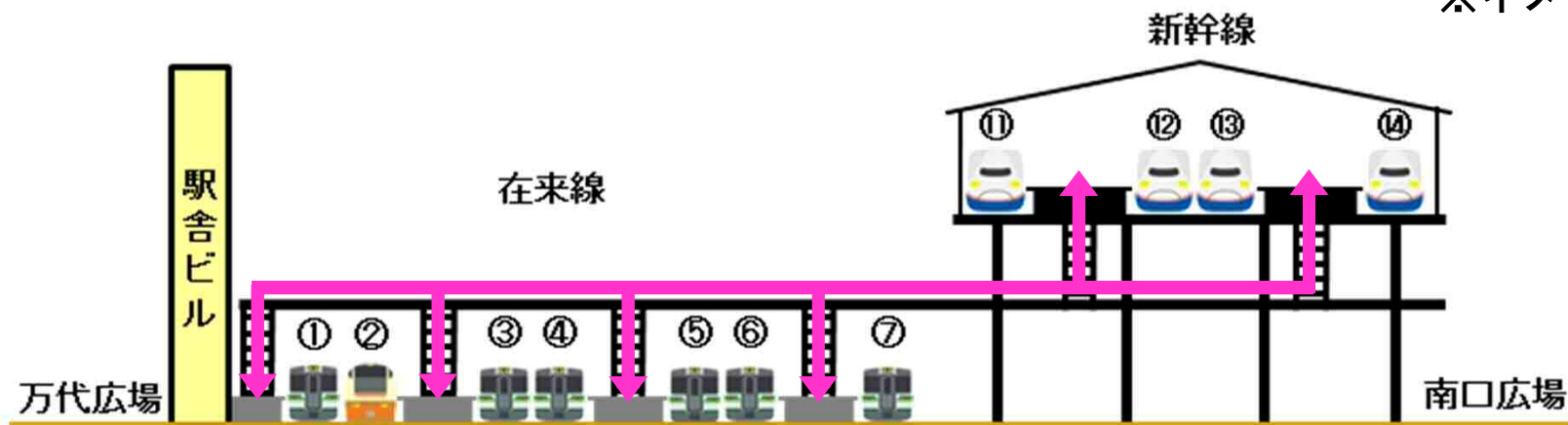
新幹線・在来線同一ホーム乗り換え

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟

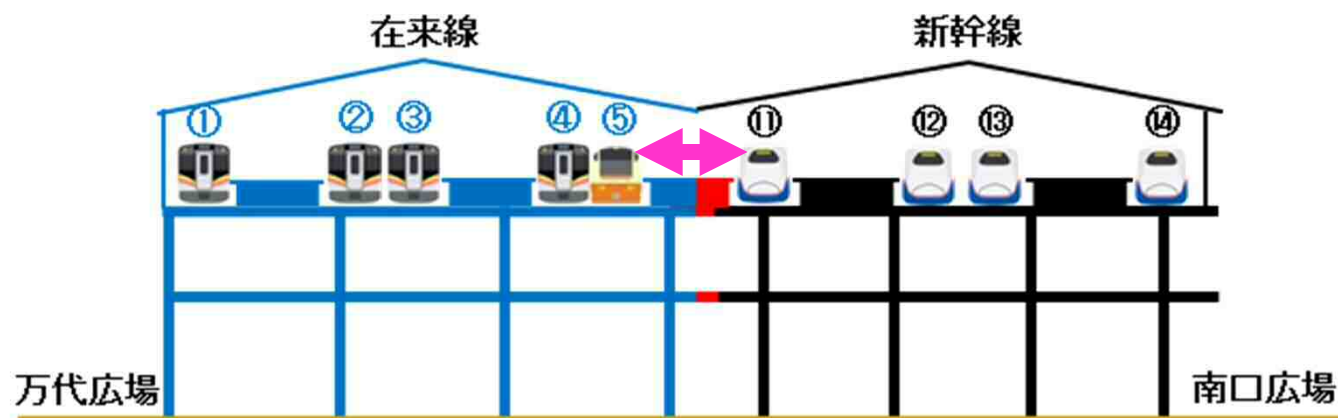


※イメージ

これまで



整備後



乗り換えの上下移動が不要

新幹線・在来線同一ホーム乗り換え(イメージ図)

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



※乗り換えイメージを表したものであり、実際の状況とは一部異なります。

スムーズな乗り換え

乗り換えの
わかりやすさ・安心感

鉄道高架化・同一ホームの事業費

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



鉄道高架化事業

2018年4月15日
高架駅第一期開業

事業主体：新潟市（2007年度から）
事業期間：2006年度～
総事業費：885億円

- ・同一ホーム設置に際し、ホーム配置を変更



手戻りがなく効率的・高い費用対効果・コスト縮減

同時に施工

新幹線・在来線 同一ホーム乗り換え事業

2018年4月15日
同一ホーム供用開始

事業期間：2007年度～2018年度

総事業費：15億円

（新潟県・JR東日本・新潟市が3分の1ずつを負担）

主な工事内容

- ・新幹線高架駅の壁を撤去
- ・新幹線側の乗り換えホーム新設
- ・新幹線側ホームドア等の設備設置

鉄道高架化事業の今後の予定

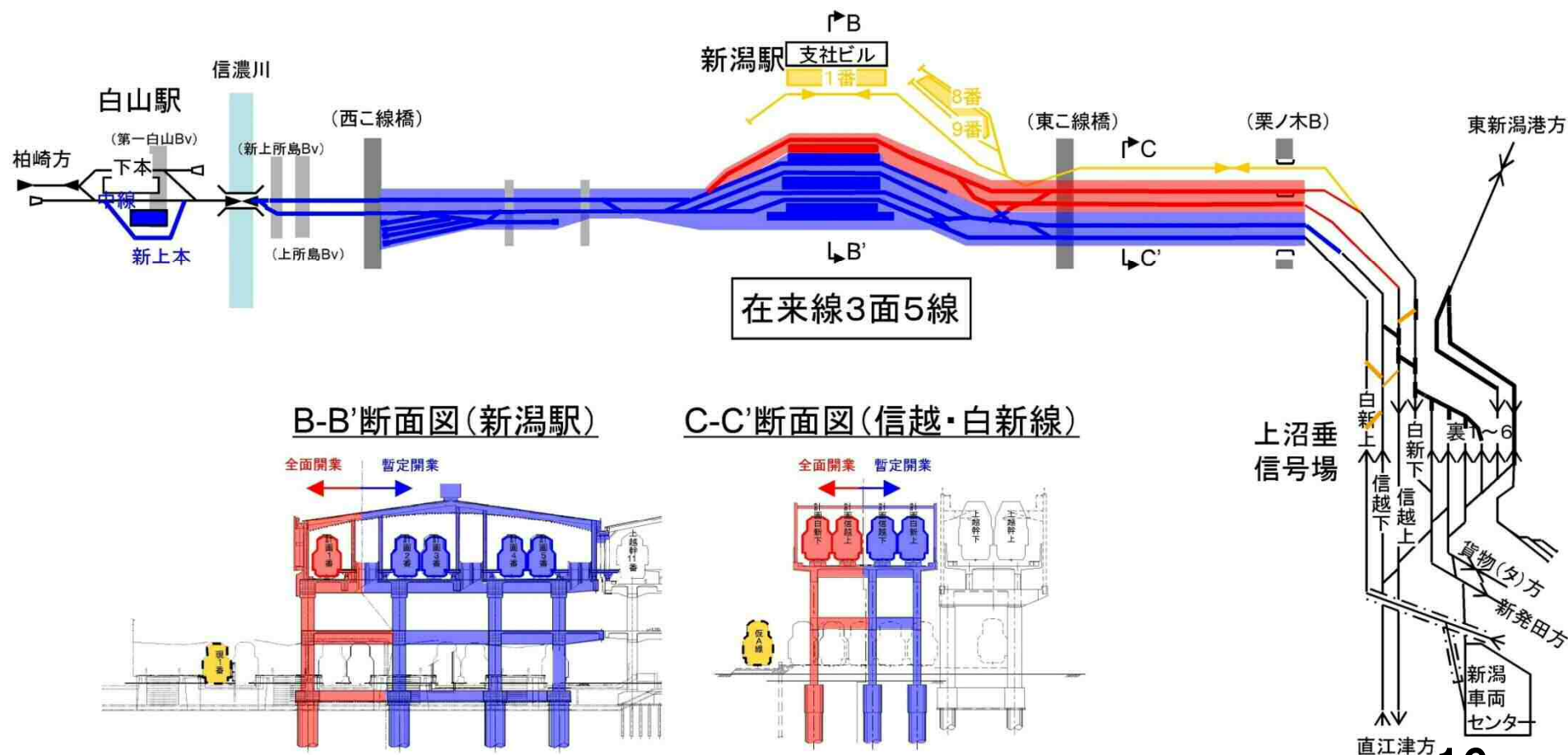
花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



2018年4月15日 高架駅第一期開業（4線分）



2021年度頃の全線高架化を目標に、今後も事業を実施



立体交差道路等の整備

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟

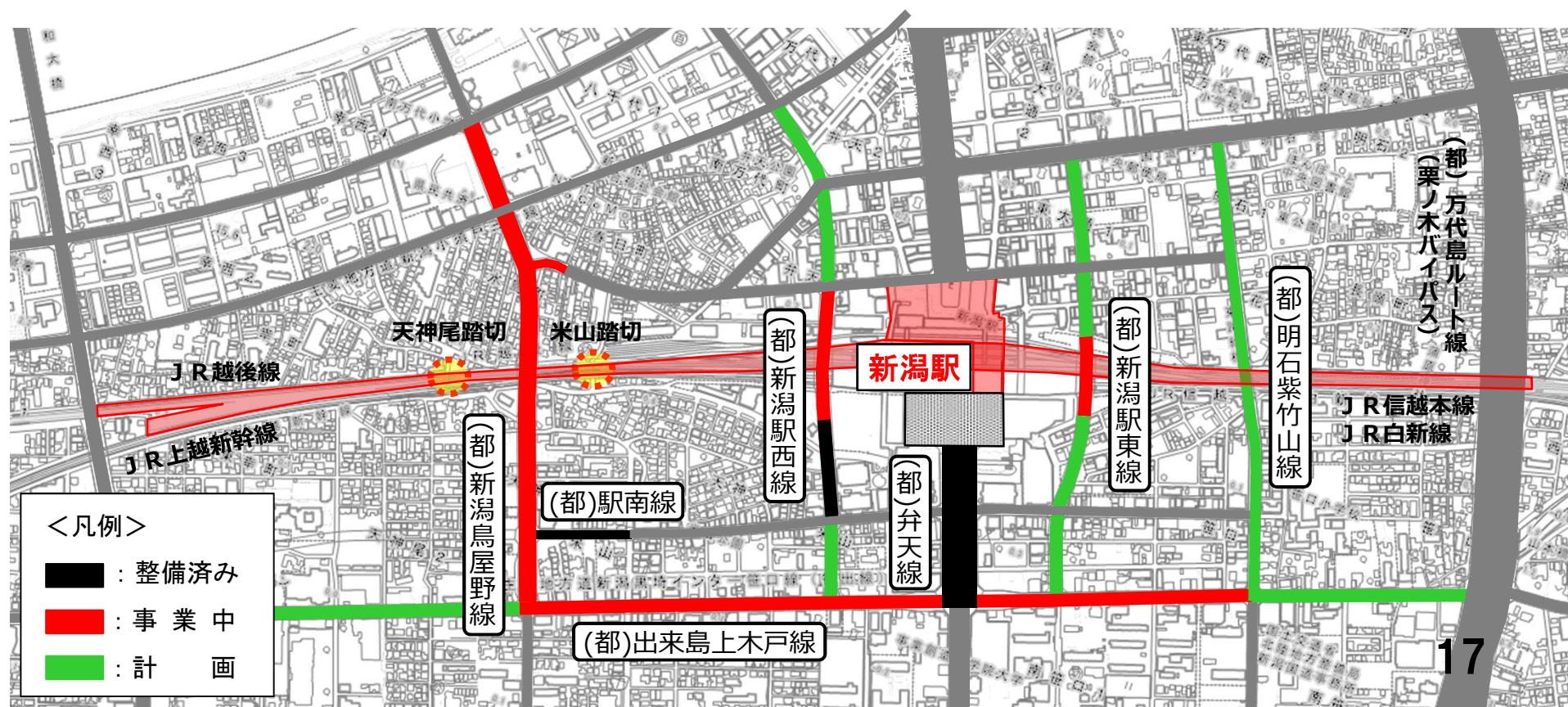


立体交差道路

- ・新潟鳥屋野線 L=819m W=30m
- ・新潟駅西線 L=831m W=22m
- ・新潟駅東線 L=750m W=22m
- ・明石紫竹山線 L=766m W=18~20m

その他の道路

- ・出来島上木戸線 L=1,855m W=22m
- ・駅 南 線 L= 144m W=16m
- ・弁 天 線 L= 330m W=60m



新潟鳥屋野線の整備

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



〔事業概要〕

- 事業区間 中央区八千代1丁目～中央区米山
- 延長 819m
- 幅員 30m（4車線・歩道・自転車道・植樹帯）
- 事業期間 2006年度～2019年度（予定）

2019年5月9日 2車線で一部開通



整備イメージ

【主な取り組み】

- ◎ 電線類の地中化
 - ・良好な景観形成
 - ・都市防災の向上
- ◎ 自転車道の整備
 - ・自転車や歩行者の安全性、利便性の確保

2019年度内の供用開始に向けて整備中 18

駅前広場の整備

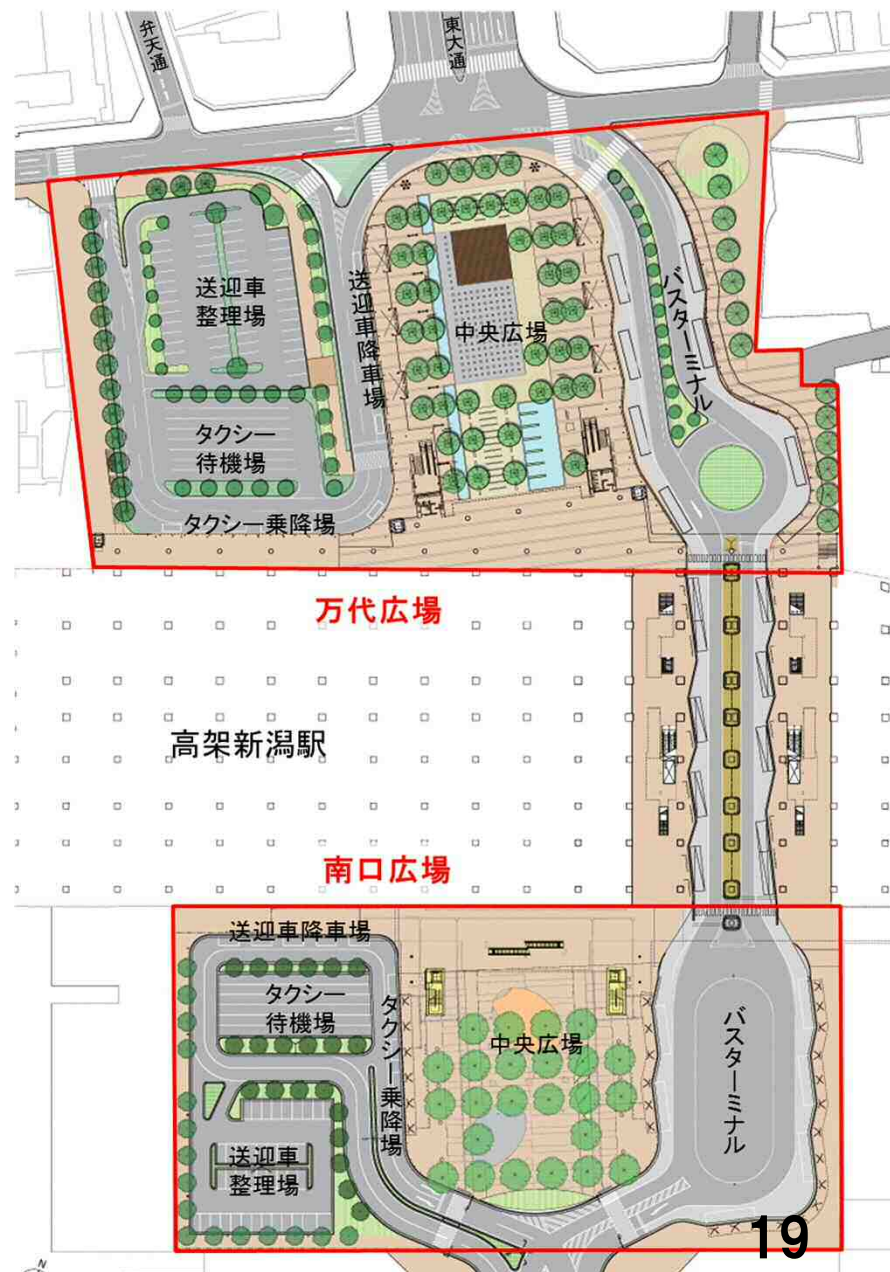
花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



- ☆ 駅舎と一体となったデザイン検討
- ☆ 市民参加の計画づくり

広場整備の基本的な考え

- コンセプト
「人・交通・自然が
気持ちよく循環する都市の庭」
- 人と公共交通が中心の広場
- 時代とともに計画を成長させる
(いきなりフルスペックで整備しない。
新潟らしさを市民とのコラボレーションで育てていく)



※万代広場・高架下交通広場は今後の検討・協議により変更の可能性があります

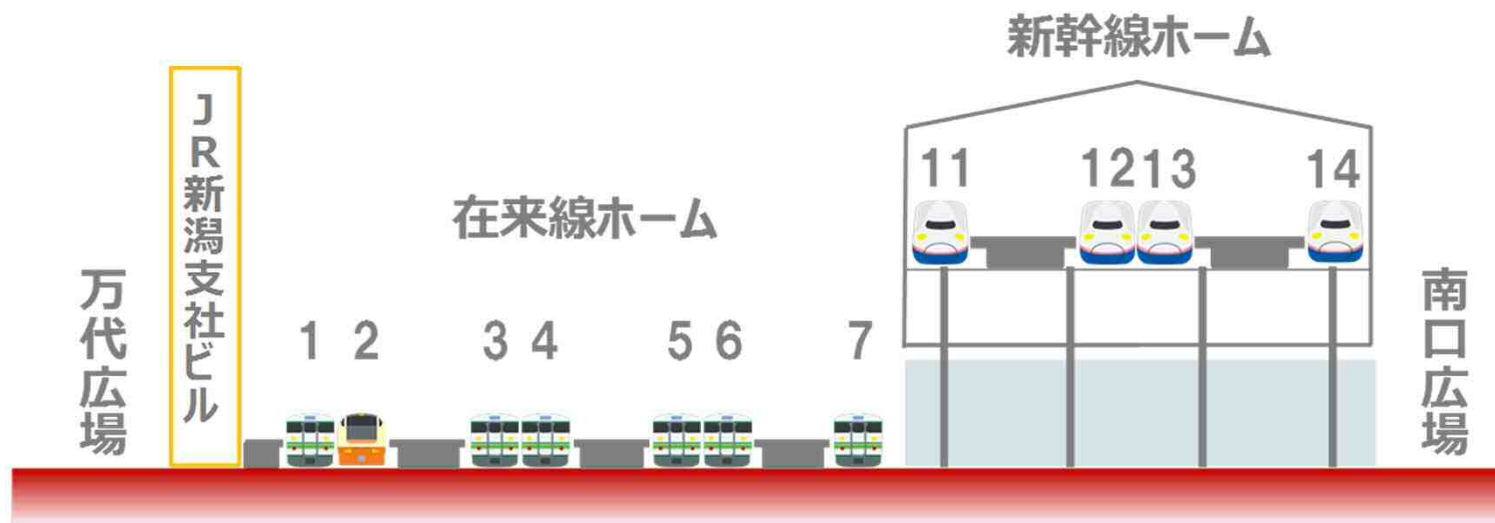
駅前広場の整備

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



整備前

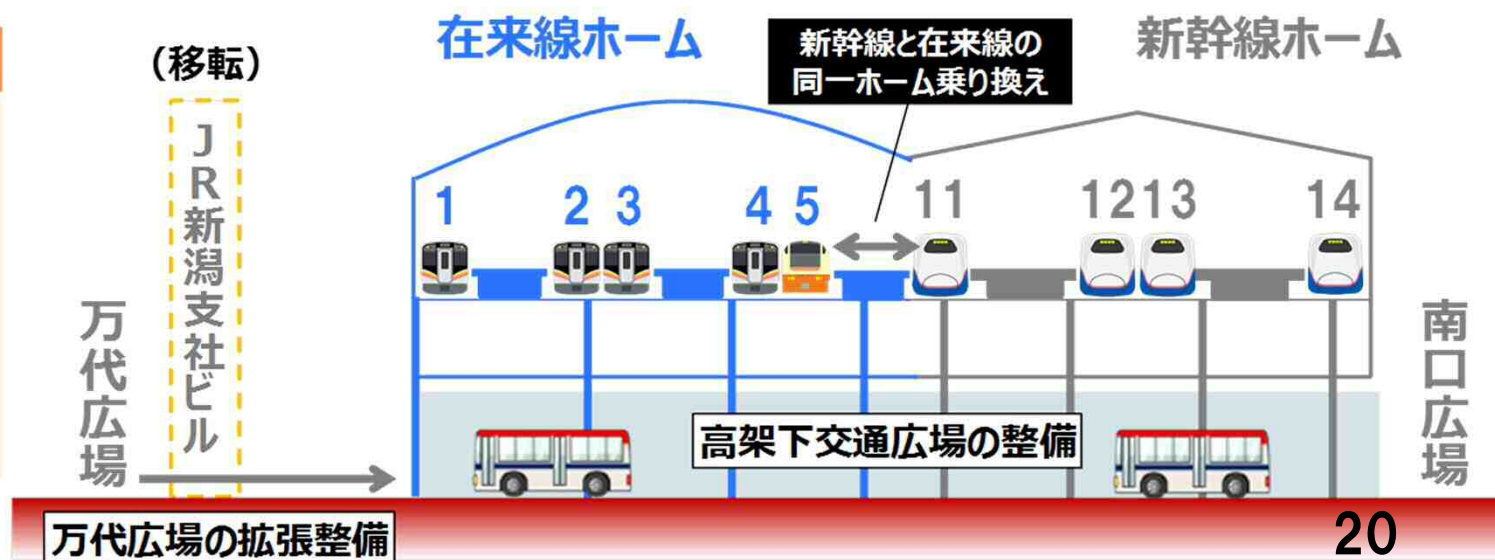
安全で円滑な交通処理を
図るとともに、高齢者や
障がい者など、すべての
利用者にとって利便性の
高い駅前広場へ



整備後

駅前広場整備事業

- 万代広場
A=約18,500㎡
- 南口広場
A=約14,000㎡
(完了)
- 高架下交通広場
A=約4,000㎡



万代広場 整備イメージ

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



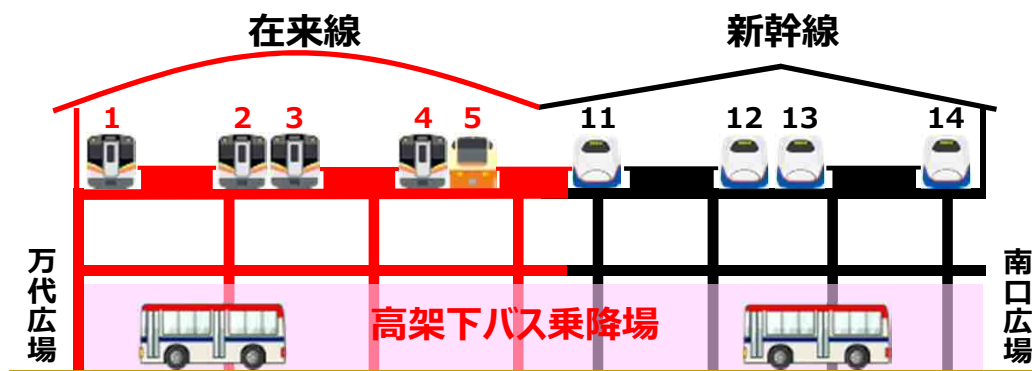
※整備イメージ
(今後の検討・協議により変更の可能性があります)

高架下交通広場の整備

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



鉄道高架下に2つの駅前広場を結ぶ
交通広場（バス乗降場）を整備



公共交通軸の明確化

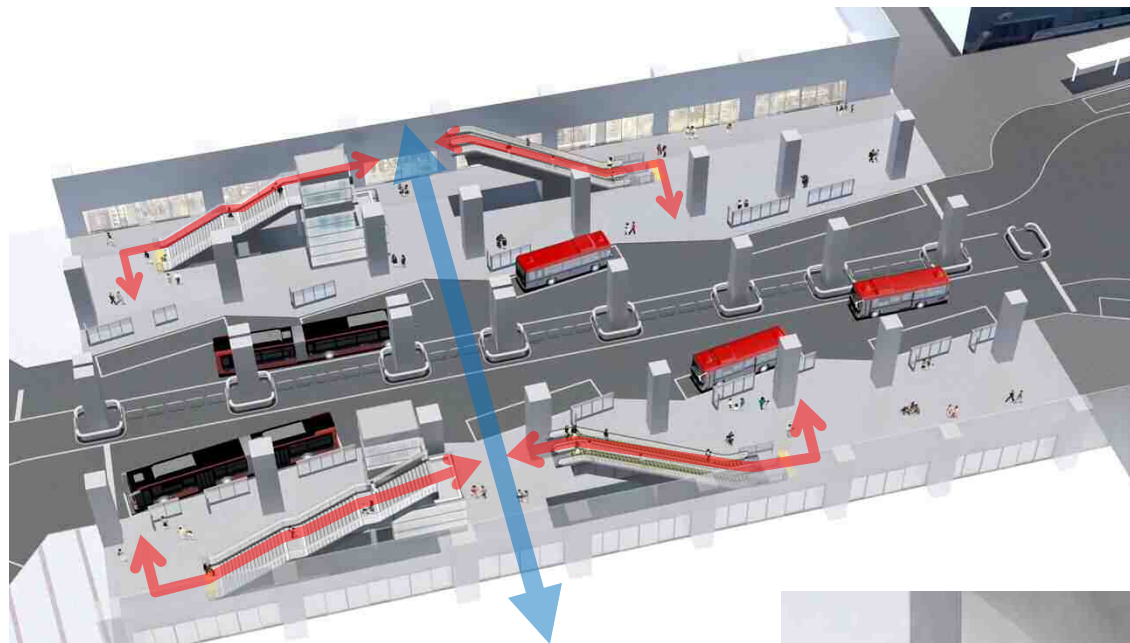
鉄道とバスの乗り換え距離短縮

快適なバス待ち環境の創出



高架下交通広場の完成イメージ

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



高架橋2階
鉄道改札口

バス乗降場全体イメージ

- 高架橋2階の鉄道改札口とバス乗降場の2階部分は1本の動線

バス乗降空間イメージ

- 高架下のバス乗降場は天候に左右されないバス待ち環境



23

※整備イメージの内容は、今後の検討・協議により変更の可能性があります

高架下交通広場の完成イメージ

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



万代広場から高架下交通広場を望むイメージ



※整備イメージ
(今後の検討・協議により変更の可能性があります)

新潟駅周辺整備の今後

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



2018年4月15日

高架駅第一期開業・越後線高架化完了
新幹線と在来線の同一乗り換えホーム使用開始



踏切除却により、踏切事故の防止と交通混雑の緩和が図られ、
新幹線と在来線の「のりかえホーム」の供用により、乗り換えの利便性が向上しました。

踏切除却による安全性と利便性の向上

秋田・山形方面との連携による
日本海国土軸の強化

☆新潟のまちづくりにとって大きな節目☆

2021年度頃 全線高架化を目標に連続立体交差事業の推進

25

新潟駅周辺整備の今後

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



2019年度

新潟鳥屋野線 供用開始



新潟鳥屋野線のイメージ

南北市街地の一体化

鉄道を横断する道路として、2019年度に新潟鳥屋野線を供用し、順次、その他の幹線道路を整備することで南北市街地の一体化を進めます。

2022年度頃

高架下交通広場 供用開始

交通結節機能の強化と基幹公共交通軸の形成



高架下交通広場のイメージ

鉄道とバスの乗り換え利便性が高まるとともに、駅南北を結ぶ基幹公共交通軸を形成します。

2023年度頃

万代広場 供用開始

新潟駅の拠点化とにぎわいの創出



万代広場のイメージ

駅周辺の新たなにぎわいを創出するとともに、新潟駅の拠点化を進めることで民間投資を誘発します。

26

※各施設の供用開始年度は目標です

整備効果(踏切除却、幹線道路整備)

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



2018年4月 新潟駅 高架駅第一期開業

踏切除却による安全性と利便性の確保

東北日本海側との連携による日本海国土軸の強化

高架駅の様子



新潟駅は2018年4月に高架駅第一期開業を迎え、今後は**2021年度頃の全面開業**を目指して、高架化事業を推進

新幹線と在来線の「のりかえホーム」のイメージ



除却する前の米山踏切の様子



踏切除却により、踏切事故が無くなるとともに交通混雑の緩和が図られた。また、新幹線と在来線の「のりかえホーム」の供用により、乗り換えの利便性が向上した。

2019年5月 新潟鳥屋野線一部(2車線)開通

南北市街地の一体化



2019年5月に交差道路である新潟鳥屋野線が2車線で開通し、年度内の4車線化を目標に事業を進めている。



その他の効果

- 踏切事故の解消
- 温室効果ガス削減効果 など

踏切除却と新潟鳥屋野線整備による効果

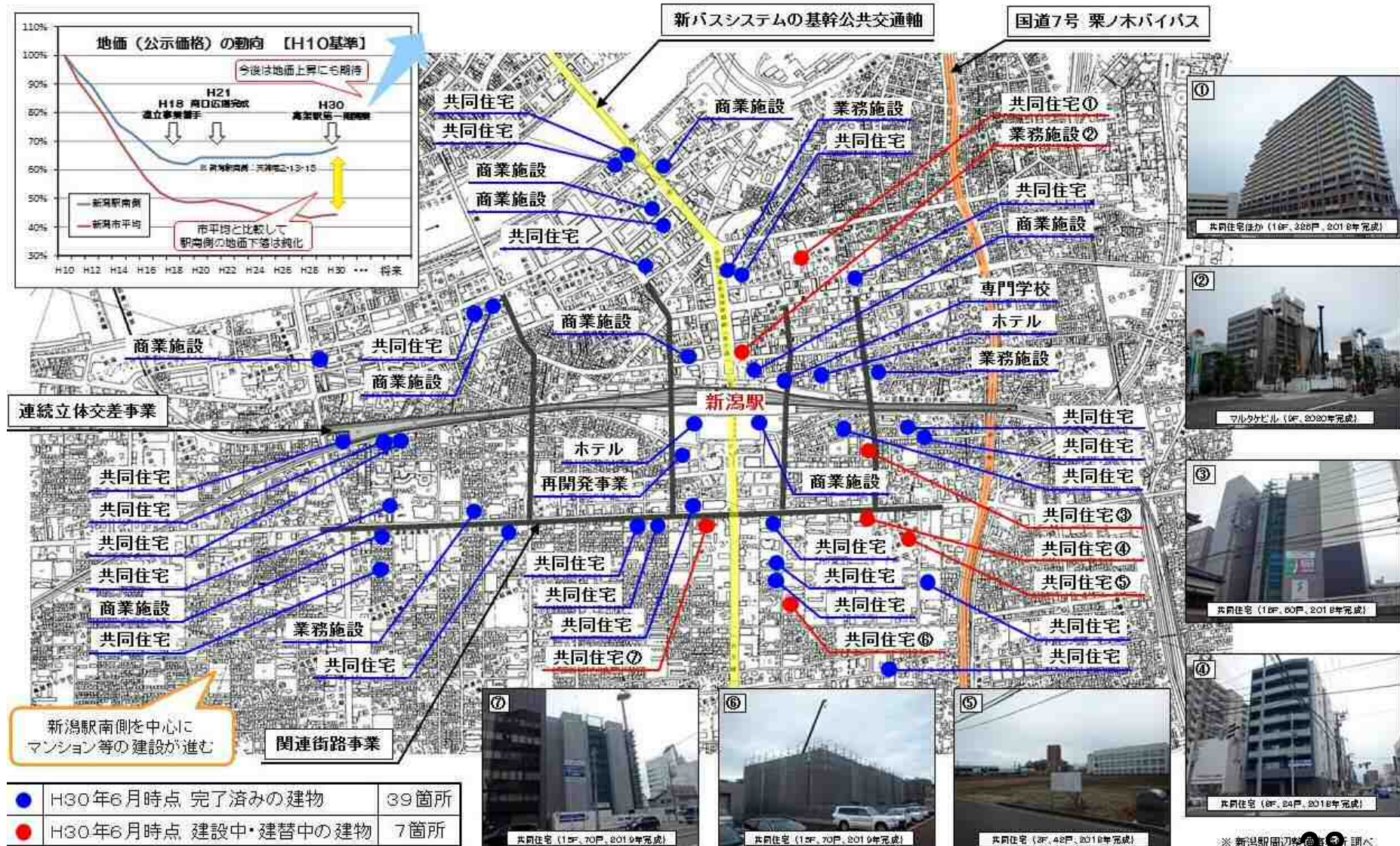
- 1日あたり最大3時間あった**踏切遮断時間** **0に!**
- 新潟鳥屋野線整備により **市街地一体化** が進む!
- 新潟鳥屋野線が開通したことにより**旧踏切交通量** **半減!**

新潟駅周辺整備のストック効果(開発動向)

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟

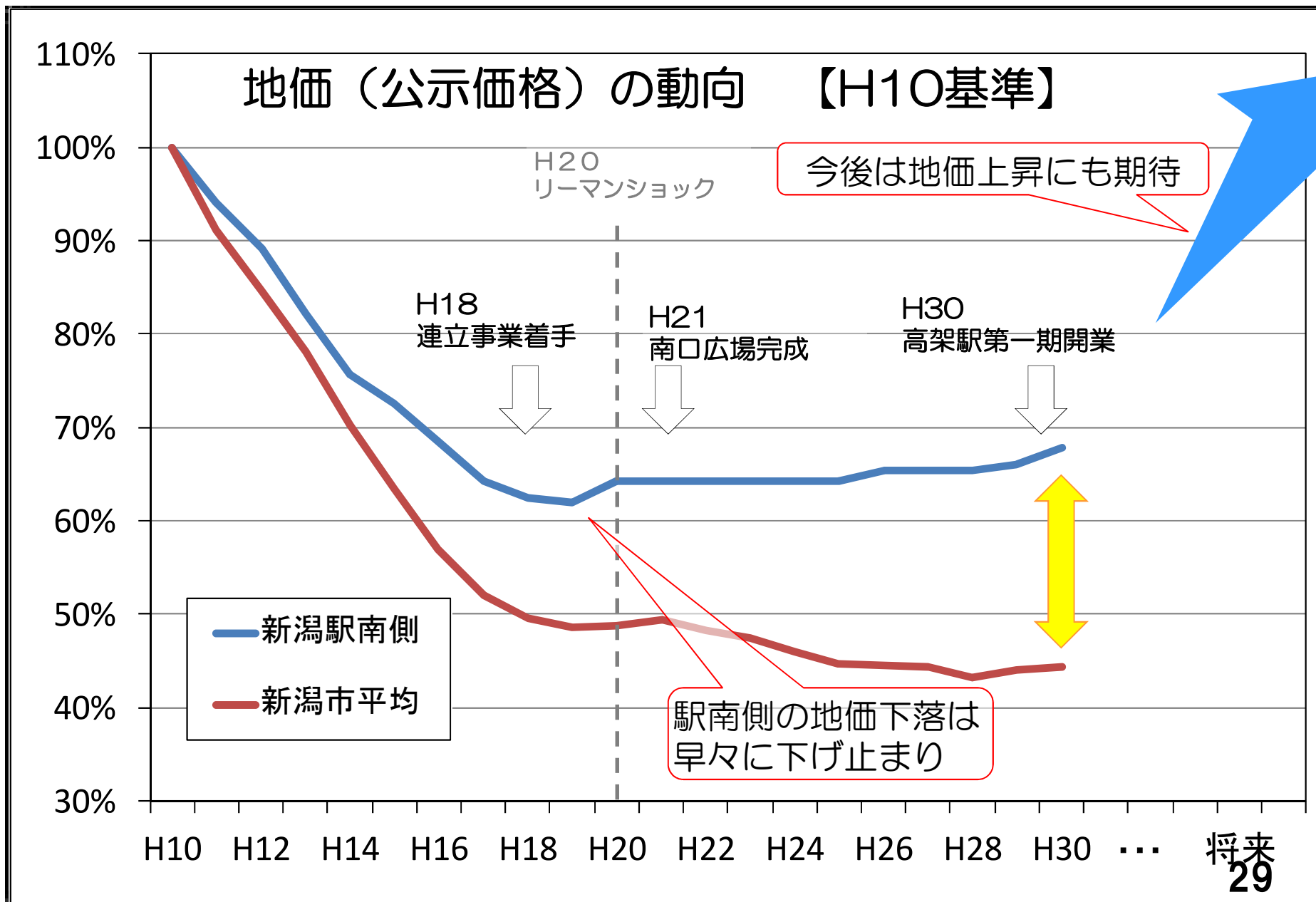


事業着手時(平成18年度)以降の開発を対象



新潟駅周辺整備のストック効果(地価動向)

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



新潟の自然

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



越後平野の稲穂



日本海へ沈む夕日



チューリップ畑



冬の佐潟（ラムサール登録湿地）

新潟の文化

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



旧斎藤家夏の別邸



旧新潟税関



31
古町芸妓

新潟の食

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



B級グルメ

32



ありがとうございました

